

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
パ	細				R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	1		スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R3	市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行うことで、プロ・サッカーチームのキャンプ誘致を図る。	良質な芝生を維持する為の適正管理	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム	【今後のスケジュール】 継続的に芝生の適正管理を行うことで、プロ・サッカーキャンプ誘致に繋げ、観光振興を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間(1-2月)に受入可能な最大チーム数を設定した。
1	2		尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ～ R1	平成25年度に策定した「尚巴志活用マスタープラン」に基づき、尚巴志関連の文化資源を活用し、地域の歴史文化を学べる機会を創出することで、市の歴史文化の継承を図る。	1 尚巴志の普及・啓発・情報発信 ・「紙芝居学校アウトリーチ」 市内小学校9校(各1回) ・紙芝居DVD制作 ・「文化講演会」1回 2 地域興しの人材育成 ・「尚巴志塾事業」講座6回 3 エコミュージアムの創造 ・「文化遺産巡りコンサート」 市内文化遺産所在地区4箇所(各1回) ・「地域孫会議事業」 上記開催地区4箇所(各1回) ・「琉歌募集事業」	各事業実施後、参加者に対するアンケートを実施し、市の歴史文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 事業完了時、「尚巴志」の認知度が高まり、獲得した知識をそれぞれが情報発信していくことで、南城市の知名度向上に繋げ、観光客増を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が市の歴史文化への理解が深まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	3		南城市産商品販売力強化事業	H27 ～ R2	市産商品の売上増加を図るため、市産商品のPR及び販売活動を行う。	・市内イベントでの販売活動1回 ・県内観光商業施設等での販売活動1回 ・市外イベントでの販売活動1回	商品の売上額:441万円以上 (出展するイベント等での売上額)	【今後のスケジュール】 来場者や売上の増加に向け、内容を改善しながらR2年度まで支援を継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	4		海外交流推進事業	H28 ～ R1	アジアからの外国人観光客の増加を図るため、アジアから学生インターンシップを受け入れ、海外からの視点で南城市の観光における魅力や課題を探り、地域の観光関連事業者へ共有するとともに、外国人観光客に関するシーズやニーズを調査する。	・アジアからのインターンシップ受け入れの実施 ・アジアに向けた観光PR活動の実施 ・市内観光事業者へのセミナー開催(成果共有)	斎場御嶽における外国人観光客数40,000人以上/年	【今後のスケジュール】 各関係セクターと連携しながら、インターンシップカリキュラムをブラッシュアップし、積極的かつ効果的に香港市場とのネットワークを形成する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	5		南城型エコミュージアム実施計画策定事業	H28 ～ R1	観光誘客を図るため、自然・歴史・文化・人など地域の魅力ある資源を活用し、新たな観光資源を創出するため、市内27地域のエコミュージアム計画を策定する。 今年度は、南城型エコミュージアム実施計画(各論その3)を策定する。	地域懇談会実施箇所:9地域	南城型エコミュージアム実施計画(各論その3)策定(9地域)	【R2成果目標】 地域ごとのエコミュージアム計画を基に、観光誘客を目的とした事業の実施に繋げる。 【今後のスケジュール】 R2～R3 南城型エコミュージアム実施事業を展開	【R2成果目標設定の考え方】 本事業において策定するエコミュージアム計画の中で観光誘客に係る指標を設定するため、当該計画で設定した指標を目指した観光誘客に繋がる事業を実施していくことを目的とする。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	6	観光振興将来拠点整備事業	H25 ～ R1	大規模な公共駐車場を整備することで、各種イベント時の駐車場不足等の課題を解消し、利便性を確保する。また、災害時には避難場所として活用し、市民や観光客等の安全確保を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・造成工事 ・面整備 ・擁壁工事 ・管理施設工事(外灯、安全柵等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場利用者の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該駐車場のあり方をアンケート調査により検証する。 ・整備した駐車場を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 	<p>【今後のスケジュール】 R2 全面供用開始</p>	<p>[R1成果目標設定の考え方] (駐車場利用者) ・駐車場利用者のうち、大多数が利便性が確保されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p> <p>(災害時避難所機能) 整備した駐車場を活用した防災訓練の実施、検証を行うことで住民及び観光客の安全確保に資すると考え成果目標として設定した。</p>
1	7	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ～ R3	観光地として魅力的な景観形成を図るため、世界遺産斎場御嶽をはじめ、東御廻りに関するスポットの周辺整備等を行う。 今年度は、世界遺産斎場御嶽周辺エリアの景観形成及び景観維持に係る計画を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産斎場御嶽周辺エリアの景観形成及び景観維持に係る計画策定 ・関係者へのヒアリング ・観光客ニーズ調査 ・検討委員会の開催 ・関係者会議の開催 	世界遺産斎場御嶽周辺エリア景観形成計画策定完了	<p>[R3成果目標] 観光客を対象にアンケートを実施し、観光地として魅力的な景観となっているか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R1 世界遺産斎場御嶽周辺エリア景観形成計画策定 R2～R3 計画に基づき、整備実施</p>	<p>[R3成果目標設定の考え方] 観光客の大多数にとって魅力的な景観となっていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
1	8	南城市観光交通実施計画策定事業	R1	観光客の市内交通に関する利便性の確保を図るため、観光交通のあり方や公共交通の利用促進に向けた取組を定めた観光交通実施計画を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> 観光交通実施計画策定 ・有識者へのヒアリング ・来訪者の動態調査 ・首都圏及び外国人のニーズ調査 ・検討委員会の開催 	南城市観光交通実施計画策定完了	<p>[R2成果目標] 南城市観光交通実施計画において指標を設定し、観光客の市内交通に関する利便性確保に向けた取組の確実な実施に繋げる。</p> <p>【今後のスケジュール】 R2以降 計画書に基づき、施策を実施。</p>	<p>[R2成果目標設定の考え方] 事業の目的から、観光客の市内交通に関する利便性が確保されたかを成果目標として設定すべきだが、観光交通実施計画を基にした取組の実施前であるため、効果の検証が困難である。実施計画内で指標を設定し、この達成に向けて取組を確実に実施することを計画策定後の成果目標として設定した。</p>

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	1	平和学習受入体制強化事業	H25 ～ R2	糸数アブラガマは、経年による崩落や周辺環境の変化による壕への影響が懸念されるため、来訪者の安全確保及び戦跡の保全のための工事を行い、沖縄戦の歴史の継承及び観光誘客を図る。 今年度は、ガマ内の保全対策工事を行う。	第1期保全対策工事の実施	第1期保全対策工事の完了	[R3成果目標] 年間来場者数：108,800人以上 【今後のスケジュール】 H30 保全対策設計 R1 保全対策工事 R2 保全対策工事	[R3成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
3	1	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ R3	市内の肉用牛繁殖農家の経営の安定化に向けて、農家が生産する子牛の品質及び価格の向上を図るため、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付ける者に対し支援を行う。	優良母牛導入支援：50頭	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合：113%以上	【今後のスケジュール】 R2 導入支援：50頭 R3 導入支援：50頭	[R1成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
3	2	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ R1	市内の酪農家の経営の安定化に向けて、乳用牛の生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、酪農家に対して優良乳用牛を貸し付ける者に対し支援を行う。	優良乳用牛導入支援：50頭	・生産乳量(1頭)：7,860kg以上/年 ・乳質(脂肪率)：3.89%以上	【今後のスケジュール】 事業完了後も関係機関と連携強化を図り、乳用牛の改良強化に繋げる。	[R1成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
4	1	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ R3	温室効果ガス(二酸化炭素)の排出削減を図るため、防犯灯を省エネ型のLED照明に切り替える防犯灯設置者(自治会)に対して補助を行う。	防犯灯をLED照明へ切り替え：約350本	LEDに切り替える防犯灯による二酸化炭素排出量の削減効果：36,000kg-CO2/年の削減	【今後のスケジュール】 年次的に自治会の防犯灯をLED照明に切り替え、温室効果ガス(Co2)削減に繋げる。	[R1成果目標設定の考え方] 既存照明と同等の照度を持つLED照明へ切り替えた場合を勘案して設定した。
5	1	学習支援員配置事業	H25 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	・市立8小学校へ学習支援員8名配置 ・市立4中学校へ学習支援員4名配置	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校：県平均以上 ・中学校：県平均以上	【今後のスケジュール】 継続して学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力向上に繋げる。	[R1成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
5	2	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、市内の幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、それぞれに対応した支援を行う。	・5幼稚園：特別支援教育支援員12名配置 ・8小学校：特別支援教育支援員36名配置 ・4中学校：特別支援教育支援員6名配置	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 継続して特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を要する園児・児童・生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	[R1成果目標設定の考え方] 保護者のうち大多数が支援員の対応へ満足したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	1	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ R3	南城市の歴史・文化の継承を図るため、市の歴史・文化に関する資料を収集・編纂し、冊子として刊行する。また、資料を活用して市民等を対象とした学習会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 『資料集 戦争』：会議(4回)、刊行(400部) 『民俗』：会議(2回)、原稿執筆 学習会(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の調査成果を活用した学習会への参加人数:30人以上/年 	【今後のスケジュール】 R2 「民俗」調査/執筆 R3 「民俗」刊行	【R1成果目標設定の考え方】 類似の学習会(文化課主催の琉歌講座)の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標)：令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標)：令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。